

# 令和6年度 授業づくり研修会

令和6年6月26日赤磐市立山陽小学校「社会科」

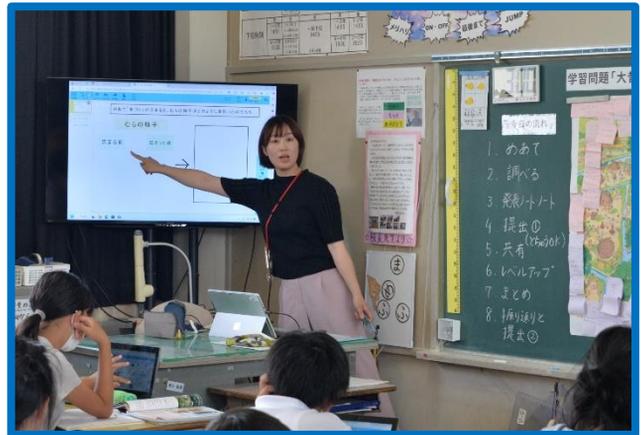
奥西郁枝指導教諭 社会科6年生「国づくりへのあゆみ」

キーワード

## 「ICT」「個別最適」「学び方を委ねる」

子ども達に「**学び方を委ねる**」ことに挑戦した。とても提案性が高く、魅力的な授業でした。

めあてに向かって子どもたち自身で、どんなツール(教科書、資料集、ICT)を使って調べ学習をするのか、誰と(友達、個人)学習するのか、どんなまとめ方にするのかを自己決定し、学習を進めました。先生は時々全体に大切なポイントを確認し、再び個へ学びを戻していくという授業でした。「個別最適な学び」を実現しようとしている中においてヒントの多い授業でした。



個人で黙々と学習を進める子、友達と同じ資料を開いて、同じようにタブレットにまとめる子、友達と分担しながら色々な資料やインターネットを活用しながらまとめている子。様々な学習の仕方が見られました。

共通していることは、全員が**明確な目的意識**もち、**学習に挑んでいる**ということです。

任された学習課題を自分のやり方で解決しようとする姿はとてもいきいきとしていてあつという間に45分の授業が終わってしまいました。

協議では、次のような意見が出されました。

- ①「教科のねらい、資質能力に迫っていたか」
- ②「一緒に学ぶ友達も同じ課題意識の友達と集まるなどといった、学習に沿った必然性と意味をもったグループが作れるとさらによい。」
- ③「他者参照など工夫し、振り返りを充実させることで、学んだことへの振り返りと自分の学び方に対する振り返りができるとよい。」
- ④「家庭学習と関連付けるとよい。」

といったことです。

これらの意見を引き継いで授業を進化させていきたいと思えます。



山陽小学校の奥西指導教諭の提案により、多くの学びを得ることができました。この授業、協議に刺激を受け、「自分も授業を公開して皆さんに見ていただきたい。」という先生も現れました。大変うれしいことです。引き継がれた授業の様子をまたお伝えします。